

原田病院外来診察担当表

(2024年1月4日～)

●診察時間:午前9時～12時 午後4時～6時 ●受付時間:午前8時30分～12時 午後3時30分～6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□ 一般内科外来 □ 糖尿病外来 □ 泌尿器科外来 □ 整形外科外来 □ 慢性腎臓病 (CKD) 外来 □ 腹膜透析 (PD) 外来

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午前 前	外 来	1診	山下(和)	山下(秀)	重本	西澤	荒川	重本
		2診	土井俊樹	西澤	水入	水入	山下(秀)	山下(和)
		3診	佐々木	大下	土井俊樹	長坂	大下	佐々木
		4診 DM	田中	小林(貴)	田中	向井	向井	広大
		5診	安達	—	—	小林(貴)	大久保	(第1・3・5週目)／(第2・4週目) 土井俊郎／岡野
		6診 初診	長坂	森井	大久保	森本	弓場	小林(知)
		7診	藤井	藤田	藤田	藤田	藤田	広大
		8診	—	—	—	—	—	秋本
午後 後	外 来	1診	秋本	16:00～18:00 山田	16:00～18:00 土井俊樹	16:00～18:00 山田	16:00～18:00 弓場	16:00～18:00 秋本
		2診	—	14:00～18:00 呼吸器 宮本	16:00～18:00 森本	14:00～16:00 西澤	16:00～18:00 呼吸器 濱田	15:00～17:00 広大
		3診	14:00～17:00 循環器 橋本	—	13:30～16:00(第2・4週) 血液内科 進藤	—	14:30～16:00 西澤	15:00～17:30 森井
		4診	—	14:30～16:30(第2・4週) 循環器 中野	—	14:00～17:00 循環器 橋本	—	—
		5診	14:30～17:30 中島	—	—	15:00～17:30 吉岡	14:00～15:00 特定健診 長坂	—
		7診	13:00～16:00 フットケア 大下	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 荒木	—	—	13:30～16:30 リウマチ・膠原病 茂久田	—
		8診	—	14:30～15:00/12:00～14:30 西澤／移植シャント外来 札幌	16:00～19:00 (第2週) 西澤	—	12:00～14:30 移植シャント外来 札幌	—

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

一陽会

原 田 病 院 院長 山下 和臣

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

一 陽 会 ク リ ニ ッ ク 院長 碓井 公治

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

デ イ ケ ア あ さ ひ 所長 寺沢 由香

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-8610 FAX 082-943-8600

イ ー ス ト ク リ ニ ッ ク 院長 有田 美智子

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 広島イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

横 川 ク リ ニ ッ ク 院長 内藤 隆之

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155

グ ラ ン ホ ー ム あ さ ひ 施設長 三上 タ子

〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 FAX 082-943-8600

クローバー訪問看護ステーション 所長 木村 美智代

クローバー居宅介護支援事業所 所長 平田 恵美

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号 (原田病院内)
TEL 082-925-6222 (訪問看護) 082-925-6221 (居宅介護)
FAX 082-925-6223 (共通)

ケアレジデンス楽々園 施設長 小嶋 加代子

デイサービス楽々園 所長 西 幸子

クローバーヘルパーステーション 所長 小嶋 加代子

〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686 (ケアレジデンス楽々園)
082-943-8585 (デイサービス楽々園)
082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 (代) FAX 082-921-8035
ホームページ http://www.icy.or.jp E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見・ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周辺地図



あとがき

元日に発生した能登半島地震では地震や津波で亡くなる直接死とは別に持病の悪化などによる災害関連死が多発し、なお一層の医療体制強化が求められています。◆災害発生時には限られた医療資源で供給能力をはるかに上回る患者さんの治療にあたらなければなりません。また高齢化や疾患の多様化、医療の専門化により一つの医療機関だけで全てを対応することは難しく、診療所や病院、関連施設の連携を基盤とした地域医療連携構築が必要です。◆広島県医師会では地域医療情報ネットワーク「HM ネット」を構築しています。これは患者さんの同意を得た上で病院や診療所、薬局、訪問看護事業者などの関係機関で患者さんの医療情報を電子的に共有する仕組みで、他院での患者さんの診療状況が把握でき薬や検査の重複も避けられます。診療情報は遠隔地にあるデータセンタに保存されており、大規模災害など非常時にも各医療機関等で確認できるため継続した治療が可能となります。◆原田病院はこれまで情報参照型としてHM ネットに参加していましたが、近く情報開示型に変更しより深く地域の災害医療にも貢献するよう進めております。このたび能登半島地震で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

一陽会広報誌

あさひ

令和6年

vol.76



題名「いざ、石鎚山へ！」

撮影：一陽会クリニック 北森 初男

Contents

- ①. “病棟集団リハビリテーション”実施中
- ②. **Topics** コンシェルジュを配置しました：原田病院
- ③. **Series** 近隣医療機関のご紹介 中村内科医院
- ④. 機能強化型(単独型)在宅療養支援病院:原田病院
- ⑤. 原田病院透析室 ご紹介
- ⑥. **Series** 「認定看護師のお仕事」について
- ⑦. **Column** いきいきさん!
- ⑧. **Series** 健康レシピ 水菜と豚肉のサラダ

一陽会 基本理念

- 愛** 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献します。
- 和** 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努めます。
- 誠** まごころ 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うします。

一陽会では、「愛・和・誠」を是訓と定め、その理念に基づいた組織づくりを行っています。

“病棟集団リハビリテーション” 実施中

原田病院地域包括ケア病棟では週に1回、入院患者さんを対象に「病棟集団リハビリ」を実施しています。

入院生活では自宅での生活と比べ制約が多く、身の回りのほとんどの事をスタッフに任せがちとなります。そうすると一日の活動量が減り、頭を使うことも減るため、俗に言う「入院したら余計に悪くなる」状態に陥りやすくなります。

そのような状態を予防するため、今年6月より昼食前の時間を使って体操を行い、そのまま昼食をとっていただいています。「ベッドから起きて人と会話し活動する」という入院前は普通だった生活の一部を入院中も取り入れることで、心身の虚弱化を予防し早期退院に繋がるよう活動しています。

体操の内容は全身の関節を動かす体操、足の筋力をつける体操、認知症を予防する体操、口を動かす体操で、誰でも簡単に実施出来るよう簡単な内容となっています。体操終了後は「身体がすっきりした」「また来週が楽しみ」といった声が多く寄せられています。

引き続き、より良い取り組みが提供できるよう病棟・リハビリ職員一致団結して頑張っています。

リハビリテーション科 作業療法士 山木 雅博



Topics

コンシェルジュを配置しました：原田病院

原田病院では10月1日より外来総合案内に“コンシェルジュ”を配置しました。

◆コンシェルジュは来院される方々の不安や不満を取り除き、安心かつ納得して医療サービスを受けていただけるよう、患者さんと病院の橋渡しの役割を担う存在です。当院はコンシェルジュを配置することで、より良いサービスの提供を目指して参ります。

病院内で困ったときは“コンシェルジュ”にお声がけください。

- 受付の仕方がわからない
- 車椅子を借りたい
- 身体が不自由なのでサポートしてほしい
- 受付はしたけどどこに行けばよいかわからない
- 待ち時間が長い
- 聞きたいこと、頼みたいことがあるけど誰に聞けばよいかわからない
- その他

初めて来院される方や、病院に不慣れで戸惑っておられる方などには積極的にお声掛けし、安心して受診していただけるようにサポートさせていただきます。また疑問・質問などお気軽にお尋ねください。皆さまのお役に立てるよう努めて参ります。



Series

近隣医療機関のご紹介

中村内科医院 (佐伯区美鈴が丘西)

「信頼されるかかりつけ医として地域の皆様の健康をサポートします」
今回は佐伯区美鈴が丘にあります中村内科医院のご紹介です。

当院は1986年、美鈴が丘団地の完成とともに開院しました。これまで、父である、先代院長が36年もの間、地域の皆さまに支えられ診療を行ってまいりましたが、2023年より先代から院長を承継しました。当院ではかかりつけ医として一般内科・消化器内科のほか、在宅訪問診療にも力を入れています。

原田病院には腎臓内科をはじめ、幅広い専門科があり、当院からの急な診察依頼や入院受け入れ等、いつも快く対応して頂いており、大変感謝しています。

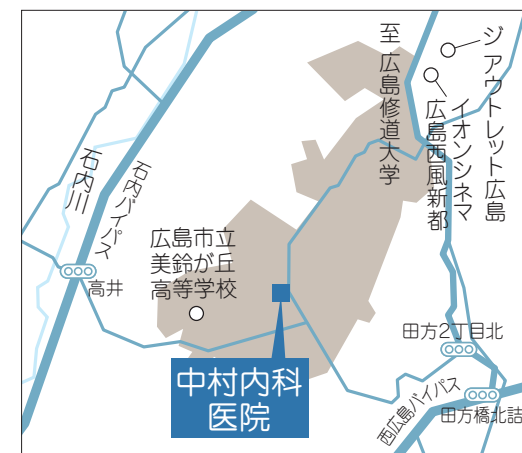
当地域は高齢化の進行とともに、医療必要度が高くなっています。原田病院との病診連

携を密に取りながら、地域の皆さまの健康をサポートしたいと思っています。これからも地域のかかりつけ医として、皆さまのお役に立てるよう尽力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

中村内科医院 院長 中村 真也



- 所在地 〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西1丁目1-1
TEL:082-928-2864 FAX:082-928-4273
- 診療科目 内科、訪問診療
- 診療時間 午前 9:00~12:30
午後 15:00~18:00
- 休診日 水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日
- 駐車場 8台



機能強化型(単独型)在宅療養支援病院：原田病院

原田病院は今年7月1日、「機能強化型(単独型)在宅療養支援病院」として受理されました。

在宅療養支援病院とは、患者さんが住み慣れた地域で安心した療養生活を送れるよう、24時間体制で往診や訪問看護等の対応を行い、緊急時には入院対応ができるなど、必要に応じた医療・看護ができる病院のことをいいます。在宅でのお看取りも行います。

これからも原田病院は地域の「かかりつけ医」としての機能を果たし、より充実した在宅医療を提供できるよう、地域医療に貢献していききたいと思います。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

包括連携部 部長 飯村久二子



原田病院透析室 ご紹介

医療法人一陽会には、原田病院、一陽会クリニック、イーストクリニック、横川クリニックの各施設に透析室があり、それぞれ特徴のある透析治療を行っています。今回は佐伯区にある原田病院の透析室をご紹介します。



原田病院は、日本の透析療法の初期から携わり、もうすぐ50年となります。2022年3月に透析室を増床し、透析ベッドが71床となり、現在、約220名の入院・外来透析患者さんが血液透析治療を受けておられます。一陽会のサテライトクリニックと同様に電子カルテ・透析支援システムを導入し、最新の透析装置を使用した透析治療を行っています。

腎機能が極度に低下した場合、血液透析・腹膜透析・腎移植、いずれかの腎代替療法が必要となりますが、血液透析を選択された場合、透析専門医・看護師・臨床工学技士・医療ソーシャルワーカーなどのチームで、患者さんを様々な面からサポートできる体制を提供しております。



原田病院透析室の特徴

①自宅以外にも様々な施設からの通院透析が可能です。
長期療養型病院、回復期リハビリテーション病院、サービス付き高齢者向け住宅、介護付有料老人ホームからの透析通院ができます。患者さんの体調に応じた血液透析の場をご用意しております。



透析室

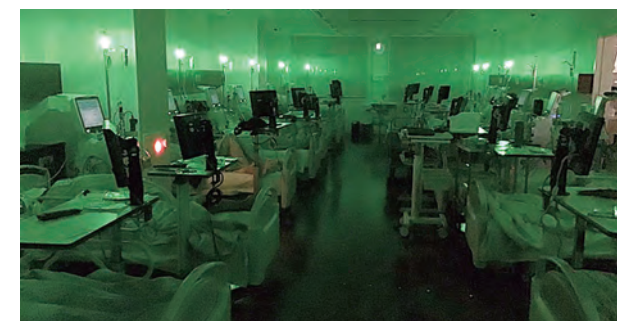
②感染症対策に特化した個室透析室があります。
2022年3月に増床した際に、個室透析室もリニューアルし、感染症対策を行った隔離透析を行うことができます。



第2透析室

③必要に応じて超音波診断を行います。
透析患者さんの大切なシャントを守るため、透析患者さんの超音波診断装置(エコー)を使用したシャント機能評価やエコーガイド下穿刺を行っています。

④オーバーナイトの血液透析を行っております。
オーバーナイト透析(深夜透析：NHD)とは、就寝時間を利用して夜に血液透析を行うことです。

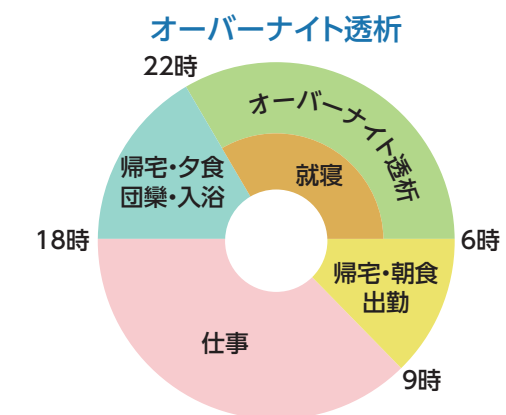
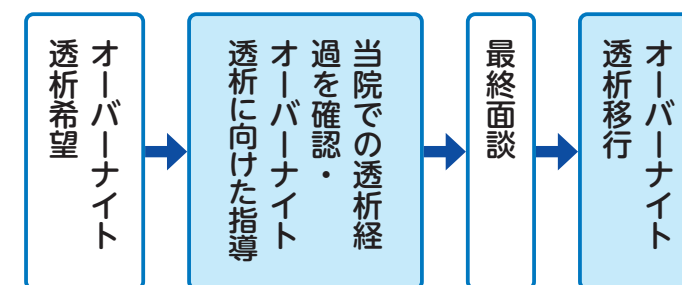


また長時間透析(8時間)を行いますので、体内に溜まった老廃物を十分に除去することが可能となります。長時間透析により透析量を増加させることで、体調の改善、生命予後の改善、血圧の安定、貧血などの透析患者さん特有の合併症の予防が期待できます。
夜の睡眠時間に透析治療を行うので、家庭での時間や仕事の時間などが確保しやすくなるため、透析患者さんのライフスタイルの向上に繋がります。



当院でのオーバーナイト透析の適応基準

- (1)ご本人に強い希望がある方
- (2)安定した透析が行えている方
- (3)長時間透析を理解され、自己管理ができている方



オーバーナイト透析の患者さんからは「長時間透析を行うことで、元気になった」「体調がよくなったので、以前の透析時間には戻れない」「仕事の時間を確保できるようになってよかった」などの声をいただいております。

曜日	時間帯	透析開始時間
月・水・金	午前	9時
	午後	14時～15時
	夜間	—
	オーバーナイト	20時～22時
火・木・土	午前	9時
	午後	—
	夜間	17時

⑤血液透析以外にも特殊血液浄化療法も行っております。
血漿交換、血漿吸着、二重濾過法、直接血液灌流法、腹水濾過濃縮再静注法も実績があり、患者さんの病態に合わせて行っております。
また、基幹病院の血管外科と連携して、閉塞性動脈硬化症患者さんの末梢血液循環の改善を導き難治性潰瘍を治療するためにレオカーナ治療も行っております。

透析患者さんの生涯続く透析生活を元気で、合併症の少ない生活が出来るようサポートしてまいります。今後もスタッフ一同、透析患者さんに安心・安全な透析治療を提供できるように努めてまいります。

原田病院 透析室統括科長 森田 直美

「認定看護師のお仕事」について vol.3

一陽会では4分野5名の認定看護師が活躍しています。
今回は「透析看護認定看護師」として一陽会クリニック透析室に勤務している多川和宏さんにお話をお伺いしました。

認定看護師は「実践」「指導」「相談」の3つの役割を担っています。そして、透析看護認定看護師の役割は「安全かつ安楽な透析治療の管理」「長期療養におけるセルフケア支援および自己決定の支援」とされています。

●実践

腎代替療法の自己決定支援で最も多く選択されているのが、血液透析療法で97%の患者さんがこの治療方法を選択しています。血液透析療法は、腕にあらかじめシャント(動脈と静脈をつなぐ手術)を作製しておきます。その血管に針を刺して血液を体外に取りだし、透析器を介して血液を浄化し、もう1本刺した針から体に血液を戻す治療です。透析を行う為に血管に針を刺すことは不可欠で技術が必要とし容易ではありませんが、最近ではエコー機で血管を可視化して安全に針を刺すことが可能になっています。また何度も繰り返し針を刺すことで起こる血管内の肥厚、腎機能低下に伴うリンの排泄困難から起こる石灰化などで血管が狭くなることもあります。そのような時もエコー機でシャントの機能評価を行いシャントトラブルの回避に努めています。患者さんにとっての命綱と言われているシャントをできるだけ長く使用するため、シャントエコー検査やシャント管理についての患者指導を日々行なっています。

●指導

血液透析は患者さんが4～5時間かけて治療を行います。安全かつ安楽な透析治療の管理を行うためにどうすべきか、統一した患者指導が行えるようスタッフに向け年に数回、定期的に勉強会を行っています。

●相談

透析治療を継続していく中でさまざまな合併症を予防することが大切です。患者さんが透析生活に折り合いをつけ、生きがいを持って治療を継続するため、医師や看護師、臨床工学技士、管理栄養士、理学療法士、介護士など多職種で連携を図り、患者さん個々に合わせて、チームでサポートしています。

ワンポイントアドバイス “血液検査の後にリンが高いっていつも言われるけどなぜ？”

リンは体の中では作り出すことが出来ません。肉や魚、卵や豆類などの食物から摂取しなければなりません。しかし透析患者さんは腎臓の働きが低下するため、尿にリンを排泄できなくなり血液中のリンが上昇します。リンを管理するためには、①透析 ②薬物治療 ③食事・栄養についての理解が必要です。

1. 透析条件を主治医に相談してみましょう。

血液透析を行う中で、使用する物品や機械の調整、透析時間などはさまざまです。リンをコントロールするために、透析条件の変更を行うことで改善する場合もあります。

2. 間食の後にもリン吸着薬を忘れずに内服しましょう。

食事の後にリンの薬は内服しているけど、間食後には内服をしていない患者さんも多いです。間食の多い方は主治医に相談してみましょう。

3. 無機リンの吸収率は90～100%なので、できるだけ摂取を控えましょう。

無機リンは食肉加工品やインスタント麺、ファストフードなどに多く含まれます。できるだけ有機リンの肉や魚・卵・豆類などを摂取できるようにしましょう。

4. 排便のコントロールをしっかりと行いましょう

リンの薬を内服することで、1回の排便で400mgのリンが排泄されると言われています。排便のコントロールをしっかりとしましょう。

それでもリンが高いと言われる方は、透析スタッフに相談してみてください。栄養サポートチームと連携して改善できるよう努めていきます。しっかり透析して、しっかり食べて、元気に過ごせるようにしていきましょう。



透析看護認定看護師
多川 和宏



いきいきさん

看護部 外来 看護補助者
扇元かすみ



楽しく仕事をしています！

入職して11年目の外来の看護補助者です。処置室で検体運びや内視鏡室での看護師さんの補助業務、物品の洗浄滅菌、発注管理を行っています。



注管理を行っています。

物品の発注には特に気を使いますが、コロナ禍で納品遅れや工場で一時的生産停止になる物品が出てくる等ひやひやすることが増えました。

物品管理は大変ですが、外来は他部署の方と話す機会も多く、

たくさんの方と話ができて、楽しく仕事をさせていただいています。過不足ない在庫管理を目標にこれからも頑張ります。

健康レシピ

水菜と豚肉のサラダ



エネルギー：187Kcal／

たんぱく質：10.4g／脂質：14g／塩分：1g

《材料(1人分)》

水菜 50g
豚肉しゃぶしゃぶ用スライス肉 50g
酒 適量
柚子胡椒 7g(小さじ1杯強)
オリーブ油 6g(小さじ1杯強)

《作り方》

- ①水菜を洗い、3cm長さに切り水気を取る。
- ②ボウルに柚子胡椒とオリーブ油を入れ、混ぜ合わせる。
- ③豚肉を一口大に切り、耐熱皿に重ならないようにおく。
肉全体に酒をふりかけ、ラップをふんわりかける。
- ④電子レンジで肉に火が通るまで加熱する。
目安：600W 加熱時間：2分半
- ⑤②に①と④を加えて、よく混ぜ合わせる。
- ⑥皿に盛り付ける。

管理栄養士 八谷 里恵